

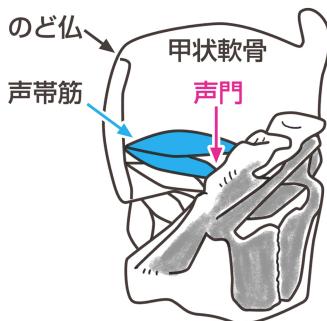
「SS研、発信します！」

第1弾

喉を科学し、発声によって人を幸せに！

SS研から情報発信する
「SS研、発信します！」 第1弾は

三重大学教授の弓場徹先生のご自宅に押しかけ、
インタビューをお願いしました。



のど仮
声帯筋
甲状腺軟骨
声門
喉の構造は複雑で、
なかでも音源となる声帯を
コントロールする
内喉頭筋の筋活動が
重要です。

私は大学の声楽科で勉強していた時、無理な発声によって喉に負担をかけすぎて、発声障害になってしまったんです。その頃から喉の仕組み、声を出す仕組みに興味をもって研究してきました。

そもそも内喉頭筋を「高いうら声を出させる」として、間接的に随意化する発声メカニズムの制御方法にたどり着きました。「発声制御理論」と呼んでいます。



私は大学の声楽科で勉強していた時、無理な発声によって喉に負担をかけすぎて、発声障害になってしまったんです。その頃から喉の仕組み、声を出す仕組みに興味をもって研究してきました。



弓場徹 三重大学教授
YUBAメソッドインスティテュート代表
<http://yubamethod.org>

「YUBAメソッド」について
教えて下さい

ニューヨークにいる時、アメリカ人の9歳児の50%が音痴に悩んでいると知ったんです。私の発声法が「音痴矯正」に有効なのではないかと考えました。



●講習会、セミナーに参加すれば誰でも指導をうけられます。



「ホーウー」というふくろうの鳴き声のようなウラ声からオモテ声までのスムーズな変化を繰り返し訓練することにより、歌唱力をアップさせることができます。



●ウラ声からオモテ声への綺麗な変化が重要です。

教員に役立つ発声方法がありましたら教えて下さい

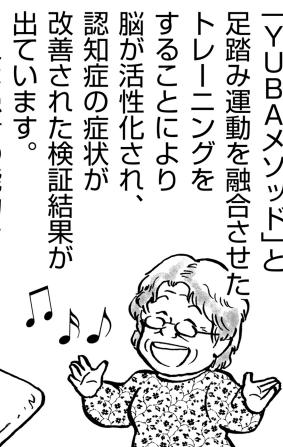
教員は一日中発声している職業です。喉の不調を訴える人も多くいます。話しかける生徒数に合った声量を考えると、朝、「喉の体操」をするだけでもだいぶ喉への負担を減らせます。



「YUBAメソッド」の応用が認知症の改善につながる研究結果があるそうですが改善された検証結果が

このトレーニング方法を「YUBAメソッド」と名付け誰もが体験できるようにしたところ、ある幼稚園から「園児の歌が上手くなつた！」と喜びの動画を送つていただきました。

これは患者の能力を取り戻すだけでなく、睡眠時間が長くなるなどの効果もあり、当人だけではなく介護する人にとってもすごく有意義なこととなります。



●「SS研、発信します！」は、SS研会員の方々のご要望により訪問取材させていただきます！まずは事務局まで連絡ください！

●弓場先生は「YUBAメソッドインスティテュート」よりSS研に登録していただいています。